

研究指導実践
第2回（2022年10月13日）

池内・宇陀・藤澤・若林

授業スケジュール

この授業は秋学期（秋ABC）の木曜日34限に開講されます（計10回）。

回数	日時	授業実施方法
第1回	10月6日（木）	オンライン（同時双方向型）
第2回	10月13日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第3回	10月20日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第4回	10月27日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第5回	11月8日（火）	オンライン（オンデマンド型）
第6回	11月24日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第7回	12月8日（木）	オンライン（同時双方向型）
第8回	12月15日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第9回	1月12日（木）	オンライン（オンデマンド型）
第10回	2月2日（木）	オンライン（同時双方向型）

授業動画の作成と評価

- 第2回～第4回では、学部学生向けの授業動画の作成の演習を行います。

▶ 第2回（10/13）：シラバスの作成

- 第3回（10/20）：授業動画の作成
- 第4回（11/27）：授業動画の相互評価

シラバスとは

“各授業科目の詳細な授業計画。一般に、大学の授業名、担当教員名、講義目的、各回ごとの授業内容、成績評価方法・基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記されており、学生が各授業科目の準備学習等を進めるための基本となるもの。また学生が講義の履修を決める際の資料になるとともに、教員相互の授業内容の調整、学生による授業評価等にも使われる。”

中央教育審議会（2008）「学士課程教育の構築に向けて」

シラバス作成の意義

1. 学生の学習を効果的に支援できる
2. 教員自身が安心して授業をすすめられる
3. 授業改善につながる
4. 授業への期待に対応できる

シラバスの基本的内容（1/2）

- 授業に関する基本情報
 - 学習目標、授業で扱う内容
- 教員に関する情報
 - 氏名、研究室の場所、連絡先（内線電話番号、メールアドレス等）、オフィスアワー、ティーチングアシスタント
- 授業のスケジュールに関する情報
 - 各回の内容、課題の内容、課題の提出方法と期限
- 受講生に関する情報
 - 受講に必要な知識とスキル、受講条件

シラバスの基本的内容（2/2）

- 成績評価に関する情報
 - 評価の基準、評価の方法
- 教材に関する情報
 - 教科書とその入手方法、その他の補助教材とその入手補法、参考図書（図書館での所在）、参考となるウェブページのURL
- 受講のルールに関する情報
 - 授業中に守るべきルール、資料配布のルール、課題提出のルール、教員へのコンタクト方法

学習目標の設定のための五つの観点

- Specific : 獲得する知識や技能が具体的に設定されているか
- Measurable : 目標の到達は評価できるものか
- Achievable : 学習者が到達可能なものか
- Relevant : 学習者のニーズにあったものか
- Timely : 社会や時代のニーズにあったものか

第2回（10/13）の演習の説明（1/2）

- 本スライド、および、「筑波大学：シラバス作成のためのガイドライン」を参照して、実際に、学部学生向けの授業のシラバスを作成してください。
- 授業科目や内容はとくに指定しませんので、各自で自由に設定してください。
- 授業回数は全10回とし、「授業計画」には、各回の授業内容を箇条書きで具体的に記述してください。
- シラバスは日本語もしくは英語のいずれかで作成してください。
- 次回以降、作成したシラバスに基づいて、実際に、授業動画を作成していただく予定です。
- 次回以降、日本語の授業を作成する場合は、日本語のシラバスを作成し、英語の授業を作成する場合は英語のシラバスを作成してください。

第2回（10/13）の演習の説明（2/2）

- シラバス記載事項は以下の通りです。
 - 科目名／授業形態／標準履修年次／単位数／担当教員名／ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）／オフィスアワー／授業の到達目標（学習成果）／履修条件／授業概要／キーワード／授業計画／学修時間の割り当て及び授業外における学修方法／成績評価方法／教材・参考書・配布資料等／その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）
- とくに記載する内容のない場合は「なし」と記述してください。
- <syllabus_fotmat_jp.docx>に加筆してmanabaに提出してください。
- シラバスの提出期限は<2022年10月19日23時55分>です。

研究指導実践
第2回（2022年10月13日）

池内・宇陀・藤澤・若林